

## 小旋回型油圧ショベル 60SR, 75UR

下垣内宏・村上良昭

油谷重工株式会社

近年、小旋回型ショベルはコンパクトな旋回性・安全性などの特徴が評価され、都市型工事のみならず林道工事など狭隘工事全般に活躍の場を拡大しつつあり、大きさもミニショベルから大型機へ小旋回化が進む傾向にある。

このような環境下で「小旋回型にも快適性能を」という開発コンセプトのもと、コンパクト化技術を駆使し標準機並みの性能を確保した小旋回型ショベル 60SR, 同 75UR の市販を開始した。両機種の外観を写真 1 に、主要諸元を第 1 表に示す。

### 特徴

- 1) 上部旋回体の後端がクローラ幅から出ないので、旋回時でも後方に神経を遣わず前方作業に集中できる。
- 2) 足回りの大型化やバランスを考慮した機器配置により標準機同等の安定性を確保し、作業性を向上した。
- 3) メンテナンス項目を、日常点検・レンタル出入庫点検・重整備に層別し、段階に応じたメンテナンスができるようにレイアウトを検討し、従来機同等以上の整備性を確保した。
- 4) 1997 年 10 月より基準が変更された新低騒音型建設機械に 6ton クラスで初めて指定され、排出ガス対策型にも指定された。
- 5) 標準機並みの運転空間・視界性を確保した新型キャブを開

発し、60SR に搭載した（キャブ内製は業界初）。



写真 1 グランビートル 60SR (左)・セイバー 75UR (右)の外観

第 1 表 60SR および 75UR の主要諸元

	グランビートル 60SR	セイバー 75UR
運転質量	6 700kg	7 640kg
標準バケット容量	0.28m <sup>3</sup>	
エンジン定格出力	55PS (40.4kW) / 2 100rpm	
輸送時全長/全幅	5 780 / 2 320mm	6 180 / 2 320mm
最大掘削深さ/半径	4 100 / 6 310mm	4 170 / 6 420mm
前方半径/後端半径	1 750 / 1 160mm	1 160 / 1 160mm

問い合わせ先：油谷重工(株) 技術部第 1 グループ TEL (082) 874-5529 FAX (082) 875-2237

## ラフテレーンクレーン「パンサー」シリーズ RK250-5, RK500

横山俊輔

建設機械事業部・大久保建設機械工場

当社は 1991 年ラフテレーンクレーン「パンサー」シリーズを「コンパクトさ」「安全機能の充実」「高い走行安定性」など、ユーザーニーズを折り込み市販を開始した。今回近年の社会的環境変化への対応、クレーン作業能力と走行性能の向上、品質の向上を主眼に 25t 吊 RK250-5 と、最大吊上能力を 45t から 50t に高めた RK500 のモデルチェンジをおこなった。写真 1 に RK250-5、写真 2 に RK500 の外観を示す。

### 特徴

- 1) クラス最小のコンパクトな車幅を守りつつクレーン安定性と剛性の向上を図った。とくに RK500 は作業半径 20m で 4t とクラス 1 の吊上性能を達成した。
- 2) 平成 10 年度施行の建設省排出ガス規制対応エンジンを搭載。
- 3) 新型 6 段トランスミッションの開発により、変速比の最適化と電子制御を組合せ走行加速性と登坂性能を向上。またヘリカルギヤ採用による走行騒音の低減を実現した。
- 4) RK250-5 は電磁式、RK500 は流体式リターダを装着し、走行安全性の向上とオペレータの疲労軽減を図った。
- 5) その他マルチディスプレイにメンテナンス情報、入出力とエラー表示、作業状態履歴表示などを追加、予防保全と故障時の早期診断と修復を可能とした。



写真 1 PANTHER RK250-5 の外観



写真 2 PANTHER RK500 の外観

問い合わせ先：建設機械事業部 大久保建設機械工場設計室 TEL (078) 936-1334 FAX (078) 935-1029